



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 大  
コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 拓  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 古市 健治 (TEL) 06(6411)1236  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,779	2.3	44	124.0	42	—	30	—
24年3月期第3四半期	3,694	△5.8	19	△77.8	△4	—	△45	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 25百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △71百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	2.49	—
24年3月期第3四半期	△3.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,863	832	16.5
24年3月期	4,879	806	15.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 804百万円 24年3月期 776百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,050	2.0	72	88.7	70	823.1	48	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,317,000株	24年3月期	12,317,000株
25年3月期3Q	46,568株	24年3月期	46,312株
25年3月期3Q	12,270,631株	24年3月期3Q	12,271,213株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機や海外経済の低迷等、国内経済に影響を与え得るリスクは依然として存在しておりますが、東日本大震災の復興需要等を背景に、景気は緩やかながらも回復の兆しが見られ、超円高の修正、株式市場の上昇で経済再生に向けた動きが期待されております。

このような事業環境のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,779百万円(前年同四半期3,694百万円、2.3%増)となり、前年同四半期と比べ建築・梱包向は、住宅需要の回復により増収となりました。一方、電気・輸送機器向は、電気業界の海外シフトの加速や欧州での景気停滞の煽りにより、さらに需要は低迷し、震災のあった前年同四半期と比べて3.6%の減収となりました。営業損益は、電気・輸送機器向が、前述の売上高の減少により、固定費を吸収できず、営業損失となりましたが、建築・梱包向の増収により、当社グループの営業利益は44百万円(前年同四半期19百万円)となりました。また、経常利益は、生命保険の解約返戻金(18百万円)もあり42百万円(前年同四半期は4百万円の経常損失)となりました。四半期純利益は、固定資産除却損9百万円、法人税等4百万円により、30百万円(前年同四半期は45百万円の損失)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、第3四半期以降、住宅需要が着実に回復基調にあり、当事業の売上高は、前年同四半期比4.0%増の2,962百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ67百万円増加し、189百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電関連は需要家の海外移転や欧州の景気停滞の煽りで低迷が続く、自動車関連も日中関係の悪化で、中国向け完成車・部品輸出が大幅に落ち込んだことにより厳しい事業環境が続きました。その結果、当事業の売上高は、前年同期比3.6%減の816百万円となり、セグメント利益は0.5百万円の損失(前年同四半期は46百万円の利益)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,863百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比16百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ46百万円増加し、2,824百万円となりましたが、これは建設・梱包向が需要の伸びを背景に、受取手形及び売掛金が、161百万円増加し、たな卸資産のなかで製品及び商品が103百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は、前年度末に比べ62百万円減少し、2,038百万円となりました。これは有形固定資産が、減価償却費112百万円などにより64百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ41百万円減少し、4,030百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ80百万円増加し、2,811百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が40百万円増加し、設備関係を含む未払金なども増加したことによるものであります。固定負債は、前年度末に比べ122百万円減少し、1,219百万円となりました。これは主に、長期借入金が130百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、832百万円となり、前年度末に比べ25百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が、投資有価証券の時価の下落により、前年度末に比べ2百万円減少しましたが、四半期純利益が30百万円であったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の15.9%から16.5%となり、1株当たり純資産は63.25円から65.53円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に発表いたしました平成25年3月期の通期連結業績予想は、本日平成25年2月6日に修正いたしました。電気・輸送機器向は今後も事業環境は厳しく、減収が避けられない状況にありますが、建設・梱包向は第3四半期以降、需要が回復基調にあり、増収増益が見込めるため修正したものであります。

第4四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

#### (建設・梱包向)

住宅着工戸数は、平成24年後半より回復基調にあり、平成24暦年は88万戸で前年度比5.8%増となりました。このため第4四半期会計期間も、当初予定の業績は確保できるものと考えております。第3四半期から設備集約等の投資を実施し、一時的に製造コストが上がりますが、需要増による特許製品「木割れ最強釘」やOEM商品等の拡販で増収増益を予想しております。

#### (電気・輸送機器向)

電気産業向の売上の落ち込みは避けられず、また自動車向は、エコカー補助金の終了に伴う反動による販売減、生産減が一巡し、また、中国への完成車・部品輸出も回復すると思われませんが、東南アジア向の自動車部品の現地調達化が更に進む見通しで、第4四半期以降も引き続き厳しい環境が続くものと思われします。

当連結会計年度(平成25年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,050百万円、連結営業利益72百万円、連結経常利益70百万円、連結当期純利益48百万円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	541,525	493,064
受取手形及び売掛金	1,216,081	1,377,343
商品及び製品	648,240	544,787
仕掛品	178,558	179,811
原材料及び貯蔵品	175,455	215,476
繰延税金資産	3,763	2,466
その他	19,663	16,549
貸倒引当金	△4,859	△4,808
流動資産合計	2,778,429	2,824,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	630,171	594,162
機械装置及び運搬具（純額）	488,500	456,944
土地	793,421	793,421
その他（純額）	25,759	28,409
有形固定資産合計	1,937,852	1,872,938
無形固定資産		
ソフトウェア	13,464	10,846
その他	20,811	18,273
無形固定資産合計	34,275	29,120
投資その他の資産		
投資有価証券	92,207	94,201
その他	62,451	67,722
貸倒引当金	△25,530	△25,335
投資その他の資産合計	129,128	136,589
固定資産合計	2,101,256	2,038,647
資産合計	4,879,686	4,863,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	836,265	877,013
短期借入金	1,714,830	1,725,590
未払法人税等	4,052	6,944
賞与引当金	28,260	20,163
その他	147,378	181,597
流動負債合計	2,730,786	2,811,308
固定負債		
長期借入金	1,196,825	1,065,930
繰延税金負債	2,718	1,036
退職給付引当金	116,743	126,382
役員退職慰労引当金	23,162	23,637
資産除去債務	2,496	2,521
固定負債合計	1,341,944	1,219,508
負債合計	4,072,730	4,030,816
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	119,083	149,664
自己株式	△2,844	△2,857
株主資本合計	771,636	802,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,442	1,864
その他の包括利益累計額合計	4,442	1,864
少数株主持分	30,876	28,453
純資産合計	806,955	832,522
負債純資産合計	4,879,686	4,863,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	3,694,526	3,779,327
売上原価	3,052,305	3,108,616
売上総利益	642,220	670,711
販売費及び一般管理費	622,540	626,629
営業利益	19,680	44,081
営業外収益		
受取利息	23	24
受取配当金	3,762	898
受取賃貸料	4,950	4,950
技術指導料	1,800	5,010
保険解約返戻金	—	18,539
その他	8,482	7,509
営業外収益合計	19,018	36,930
営業外費用		
支払利息	34,313	31,489
その他	8,441	6,820
営業外費用合計	42,755	38,309
経常利益又は経常損失(△)	△4,057	42,702
特別利益		
固定資産売却益	915	—
特別利益合計	915	—
特別損失		
固定資産除却損	1,779	9,671
投資有価証券評価損	306	—
災害による損失	38,752	—
特別損失合計	40,838	9,671
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,979	33,031
法人税、住民税及び事業税	1,957	5,384
法人税等調整額	△182	△507
法人税等合計	1,774	4,877
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△45,753	28,154
少数株主損失(△)	△619	△2,426
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,134	30,580



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△45,753	28,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,432	△2,574
その他の包括利益合計	△25,432	△2,574
四半期包括利益	△71,185	25,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,586	28,002
少数株主に係る四半期包括利益	△599	△2,422

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,848,369	846,156	3,694,526	—	3,694,526
セグメント間の内部売上高 又は振替高	95	3,401	3,496	△3,496	—
計	2,848,464	849,558	3,698,022	△3,496	3,694,526
セグメント利益	122,326	46,253	168,579	△148,899	19,680

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	168,579
セグメント間取引消去	△2,019
全社費用(注)	△146,880
四半期連結損益計算書の営業利益	19,680

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,962,563	816,764	3,779,327	—	3,779,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	4,112	4,188	△4,188	—
計	2,962,639	820,876	3,783,515	△4,188	3,779,327
セグメント利益又は損失(△)	189,698	△504	189,193	△145,112	44,081

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	189,193
セグメント間取引消去	△2,913
全社費用(注)	△142,198
四半期連結損益計算書の営業利益	44,081

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	2,319,911	△2.7
電気・輸送機器向	451,347	△36.4
合計	2,771,258	△10.5

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	3,015,044	+6.2
電気・輸送機器向	807,979	+9.0
合計	3,823,024	+6.8

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	2,962,563	+4.0
電気・輸送機器向	816,764	△3.6
合計	3,779,327	+2.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	549,992	14.9	687,601	18.2

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。